

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/11/10

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.77	0.24
JPY/THB	0.2363	0.0010
USD/JPY	151.35	0.37
EUR/THB	38.16	0.13
EUR/USD	1.0668	-0.0041
USD/CNH	7.298	0.011
SGD/THB	26.29	0.10
AUD/THB	22.77	0.03
USD/INR	83.29	0.01
USD Index	105.91	0.32

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.731	-0.049
10Y (THB)	3.082	-0.059
5Y (USD)	4.640	0.135
10Y (USD)	4.624	0.132

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,969.8	12
WTI (Oil)	75.74	0.41
Copper	8,147.0	5.0

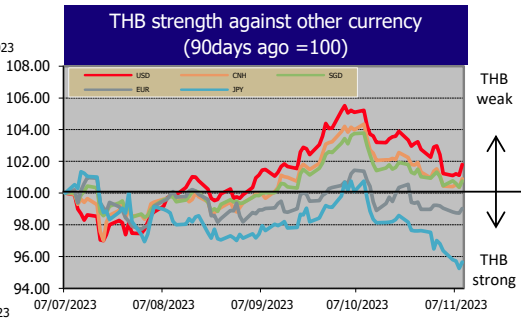
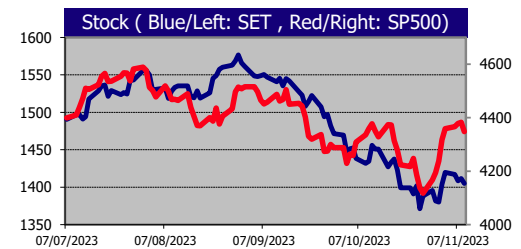
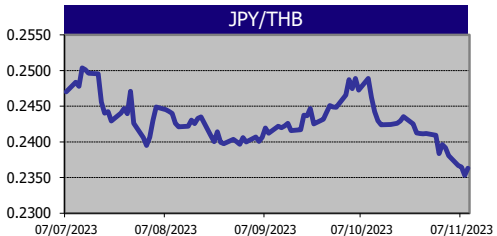
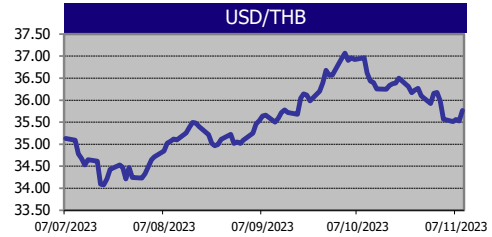
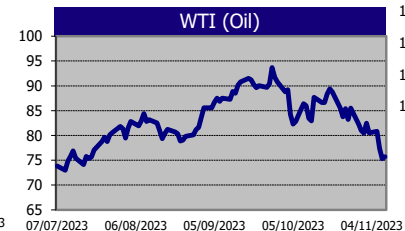
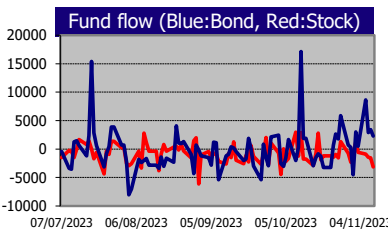
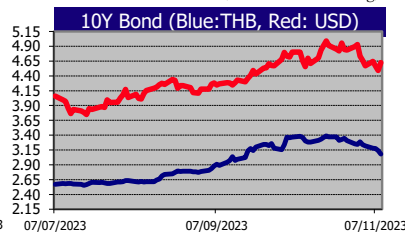
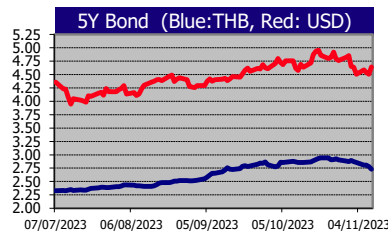
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,404.97	-6.80
NIKKEI (JP)	32,646.46	479.98
DOW (US)	33,891.94	-220.33
S&P500 (US)	4,347.35	-35.43
SHCOMP (CN)	3,053.28	0.91
DAX(GER)	15,352.54	122.94

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,112)	-1563.4
Bond net flow	2,279	-1136.1

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上昇した。35パーツ台半ばでスタートしたドルパーツは、米金利の動向に連れる展開。オープン直後は米金利が低下する動きを見せるも早々に上昇に転じ、ドルパーツも上下。欧州勢が参入してくると、米金利とともにドルパーツは上昇幅を拡大。米失業保険申請件数、継続受給者数が発表され、強弱まちまちの結果であることが判明したタイミングではドルパーツは上げ幅を縮小したが、その後、パウエルFRB議長の国際通貨基金(IMF)のイベントにおける「物価高を抑えるために政策金利が十分に高い水準に達していると確信しているわけではない」との発言が確認されると米金利が上昇。米30年債入札が低調な結果となったことも相俟って上昇幅が大きなものとなると、ドルパーツも35パーツ台後半まで急上昇し、結局35.77レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は上昇。150円台後半で取引を開始。円売り優勢地合いが続く中、底堅い推移となるも151円ちょうど付近では上値の重さも意識され、同水準での横這い推移が継続。ただ、バンコク時間終盤にかけて米金利が上昇する動きを見せると、151円台前半を付けた。米労働関連指標が発表されたタイミングでは一時150円台後半に下押しされるも、パウエル議長の講演、低調な米30年債入札の結果を経て再度151円台に乗せ、そのまま151.35レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

直近の各国の物価動向を見ると、それぞれの国によって動向は異なっている。タイではCPIがヘッドライン(前年比)でおおよそ2年ぶりのマイナスを記録し、昨日発表された中国のCPI(前年比)でも3カ月ぶりのマイナスを記録している。一方で、オーストラリアでは8月、9月のCPIが続けて上昇する結果となり、今月7日に行われた中銀会合では5カ月ぶりに利上げを行っている(もっとも、その後の声明等でタカ派姿勢が弱まったことから豪ドルは弱含んだが)。かかる状況下、昨日、パウエル議長がIMFのイベントでの講演において、「(2%の物価目標達成に向けて)十分に引き締めの確信しているわけではない」、「さらなる引き締めが適切になれば、ちゅうちょなくそうする」と発言したことは、来週14日(火)に発表が予定されている米10月CPIの注目度をより一層高めることになったと言える。ハト派と捉えられていた前回FOMCから一転、タカ派なスタンスをパウエル議長が見せたことは市場のボラティリティをより高めることとなりそうで、比較的落ち着いた値動きが続いていた今週と比べ、来週以降は指標結果に一喜一憂し、相場が大きく振れる展開も想定されるところであり、警戒をしておきたい。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.